2011年3月期
決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

Money Partners Group

本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

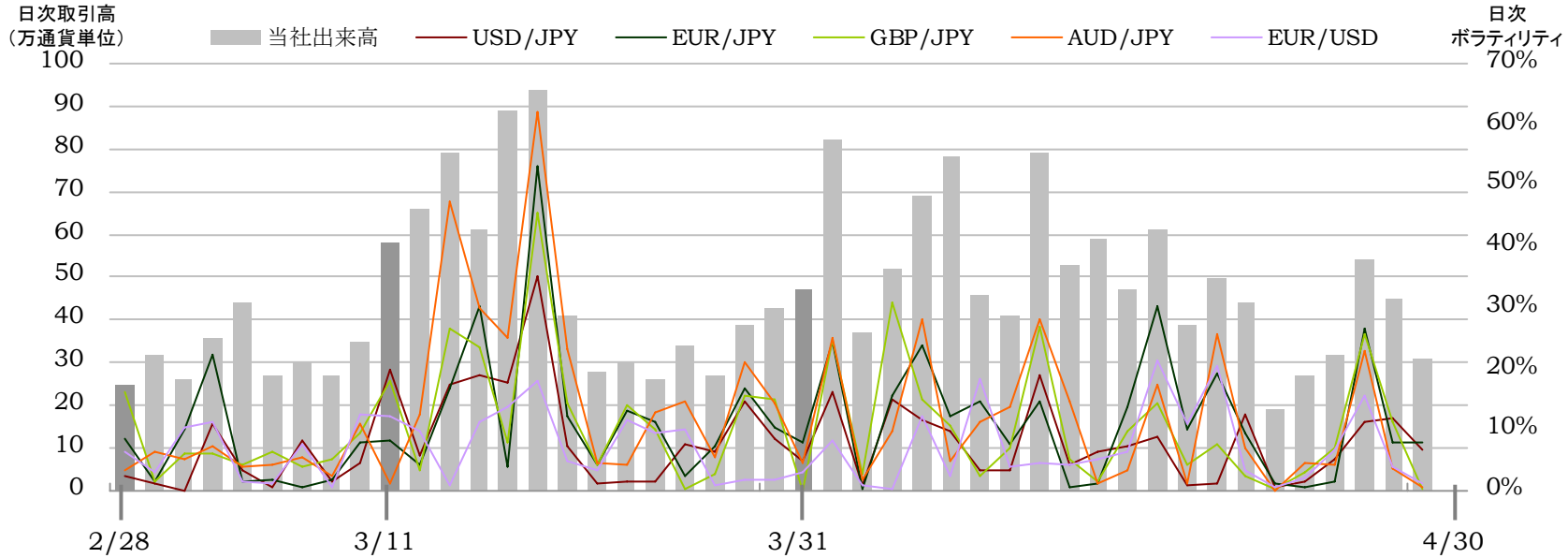
本資料における将来の展望に関する表明は、2011年5月12日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2011年5月12日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

東日本大震災の影響について

◆ FXマーケットと当社取引高、顧客基盤への影響

- 震災発生後の急激な円高進行と協調介入による円安誘導によって、**ボラティリティは高まる**
- ボラティリティの高まりに伴い、**取引高は増加**
- 為替の乱高下による顧客の損失は一部にとどまり、預り証拠金への影響は**限定的**
- FX取引への注目度UPにより**口座数は増加**



＜証拠金＞	36,498百万円	△4,346百万円※	→	32,152百万円	＋1,042百万円 → 33,195百万円
＜口座数＞	159,773口座	＋2,012口座	→	161,785百万円	＋2,009口座 → 163,794口座

※顧客のロングポジションが大幅に減少したこと等により、ホワイトラベル提供先からの預り証拠金が大きく経減少したことが要因

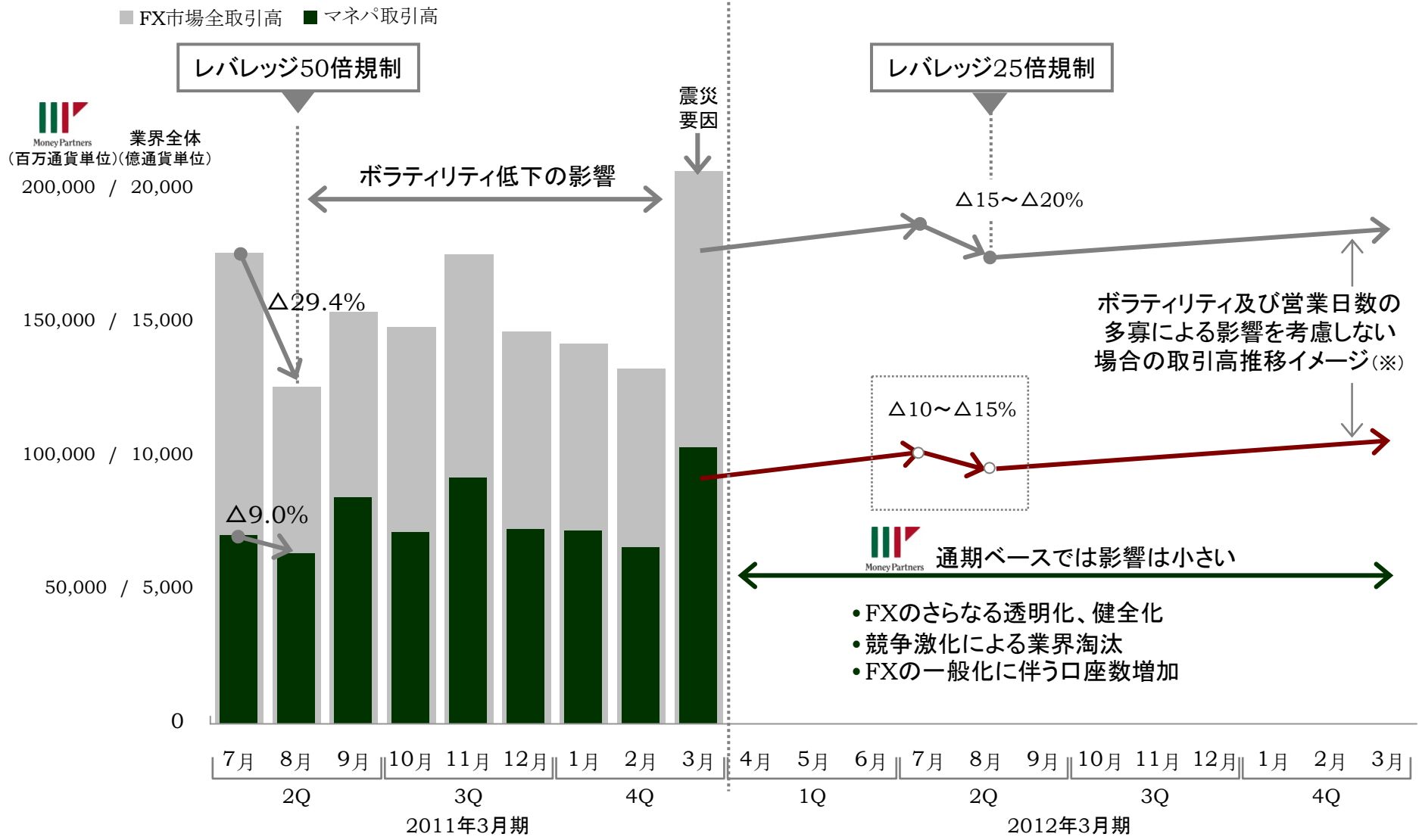
◆ 停電による影響

- 震災後の取引システム（データセンター）および当社業務運営については問題なし
- 夏の電気需要ひっ迫による停電に対しては自家発電によるバックアップラインの確保等は対応済み

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

証拠金規制の影響について

◆2011年8月施行のレバレッジ規制の影響は限定的であると想定



※業界全体および当社グループ(MP)の平均取引高イメージは当社の推定値であります。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

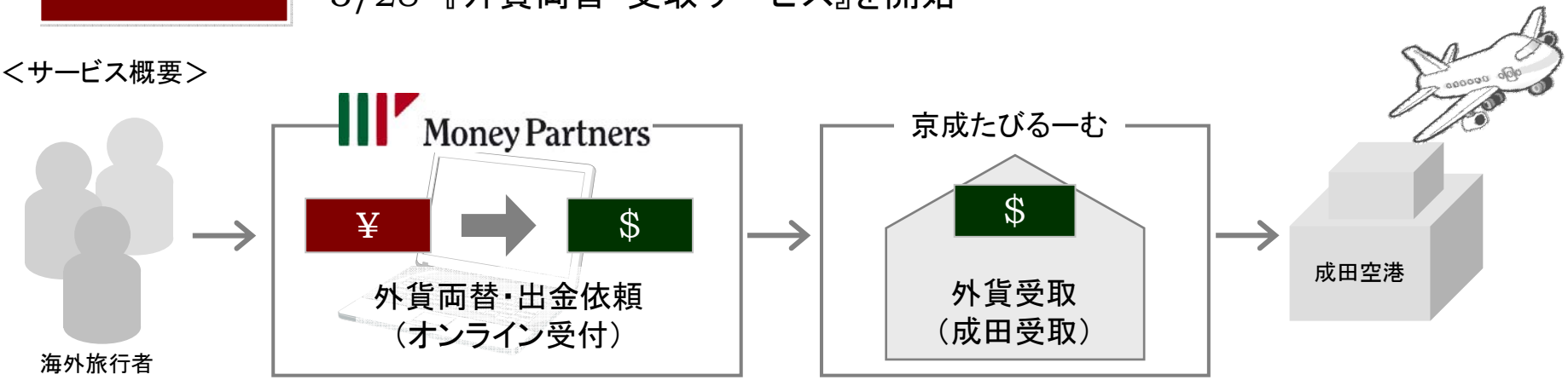
外貨両替・受取サービスの開始

！業界初！

顧客サービスの一環として提供する新しい形の付帯サービス

3/28 『外貨両替・受取サービス』を開始

＜サービス概要＞



＜サービス特長＞

コスト	競争優位性の高い手数料体系	片道スプレッド相当分＋20銭（両替手数料）＋500円（事務手数料） （1,000ドル両替の場合、顧客負担は約706円と、銀行・両替所の2,000円～3,000円の約1/4～1/3）
利便性	成田空港での外貨現金受取	旅行前の成田空港（第1・第2ターミナル駅）で外貨現金の受け取りが可能
任意性	事前に任意のタイミングで両替可能	来店時のレートではなく、事前の有利なレートでの両替を行うことが可能

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

目次

Ⅰ.2011年3月期の決算及び事業の概況

Ⅱ.2011年3月期の取組み

Ⅲ.今後の戦略及び重点課題

Ⅳ.当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ.2011年3月期の決算及び事業の概況



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期　連結決算総括①

レバレッジ規制（50倍）の施行	年間を通じた低いボラティリティ	スプレッド競争の更なる激化
規制による投資マインド低下や高レバレッジ取引の減少によるマイナス影響はあったものの、各種キャンペーンやスプレッド施策により全体としての取引高への影響は軽微	ギリシャ危機や東日本大震災などの突発的な事象により、急激なボラティリティ変動が短期的に発生するも、年間を通じてボラティリティは低調	レバレッジ規制により業界全体でより一層のスプレッド低下が進み、取引高当たりの収益性は低下

顧客向けサービスの充実や取引システムの強化による顧客の利便性と満足度向上を図るとともに、スプレッドも業界水準並みを実現することで、レバレッジ規制の影響を最小化し、取引高の拡大を達成

一方で、カバーアルゴリズムの改善等に努めるも、スプレッド低下に伴う取引当たりの収益減少は回避できず、経常利益は9.9億円に減少

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期　連結決算総括②

- 口座数は前年度末から約3万口座増加し、16.2万口座まで拡大
- 預り証拠金は顧客基盤拡大に伴い32,152百万円へと増加
- 外国為替取引高は約9,900億通貨単位と増加
- 営業収益は8,981百万円、経常利益は990百万円と減収減益に
- 当期純利益はシステムコスト効率化の取組みによる特別損失計上（システム一部除却）の影響もあり515百万円に減少

	2010/3期 【2009/4 ～ 2010/3】	2011/3期 【2010/4 ～ 2011/3】	前期比
顧客口座数	133,213口座	161,785口座	21.4%
預り証拠金	26,375百万円	32,152百万円	21.9%
外国為替取引高	800,267百万通貨単位	988,542百万通貨単位	23.5%
営業収益	9,738百万円	8,981百万円	-7.8%
経常利益	1,744百万円	990百万円	-43.3%
当期純利益	1,147百万円	515百万円	-55.1%

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期第4四半期　連結決算ハイライト

2011年3月期第4四半期　連結決算の総括とポイント

① 口座数は16.2万口座に順調に拡大。預り証拠金は3月下旬の円安基調に伴う利益確定の動き等から、ホワイトラベル提供先からの預り証拠金が減少し321億円に

総口座数	161,785口座	2011/3期3Q比	3.8%増
預り証拠金	32,152百万円	2011/3期3Q比	13.7%減

② 外国為替取引高は震災による急激な相場変動により前四半期比2.2%の増加。

1-3月取引高	約2,403億通貨単位	2010/10-12月比	2.2%増

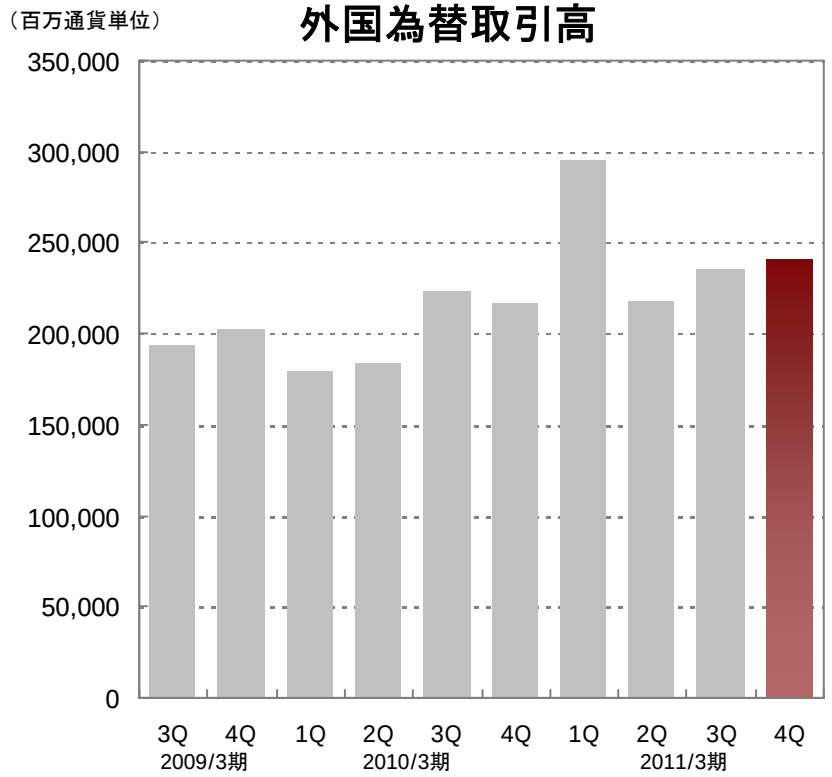
③ 第4四半期（2011/1-3）の営業収益は1,969百万円、経常利益は149百万円（前四半期比285.4%増）となった。

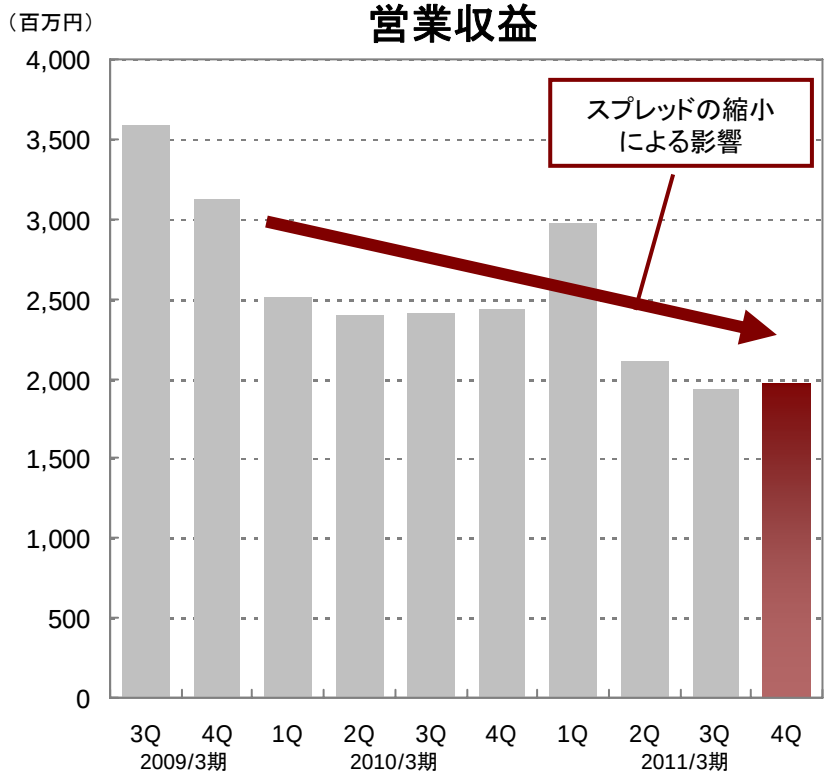
④ 四半期純利益は営業収益の増加とコスト削減により前四半期比113百万円増の87百万円となった。

- ✓ 取引高は1月、2月とボラティリティが低い状況が続いたものの、震災影響や協調介入の実施等で相場が乱高下したことにより3月の取引高が増加し、前四半期比では2.2%増となった。
- ✓ 営業収益は、上記のとおり取引高の増加に伴い前四半期比38百万円増（2.0%増）となった。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

取引高と営業収益





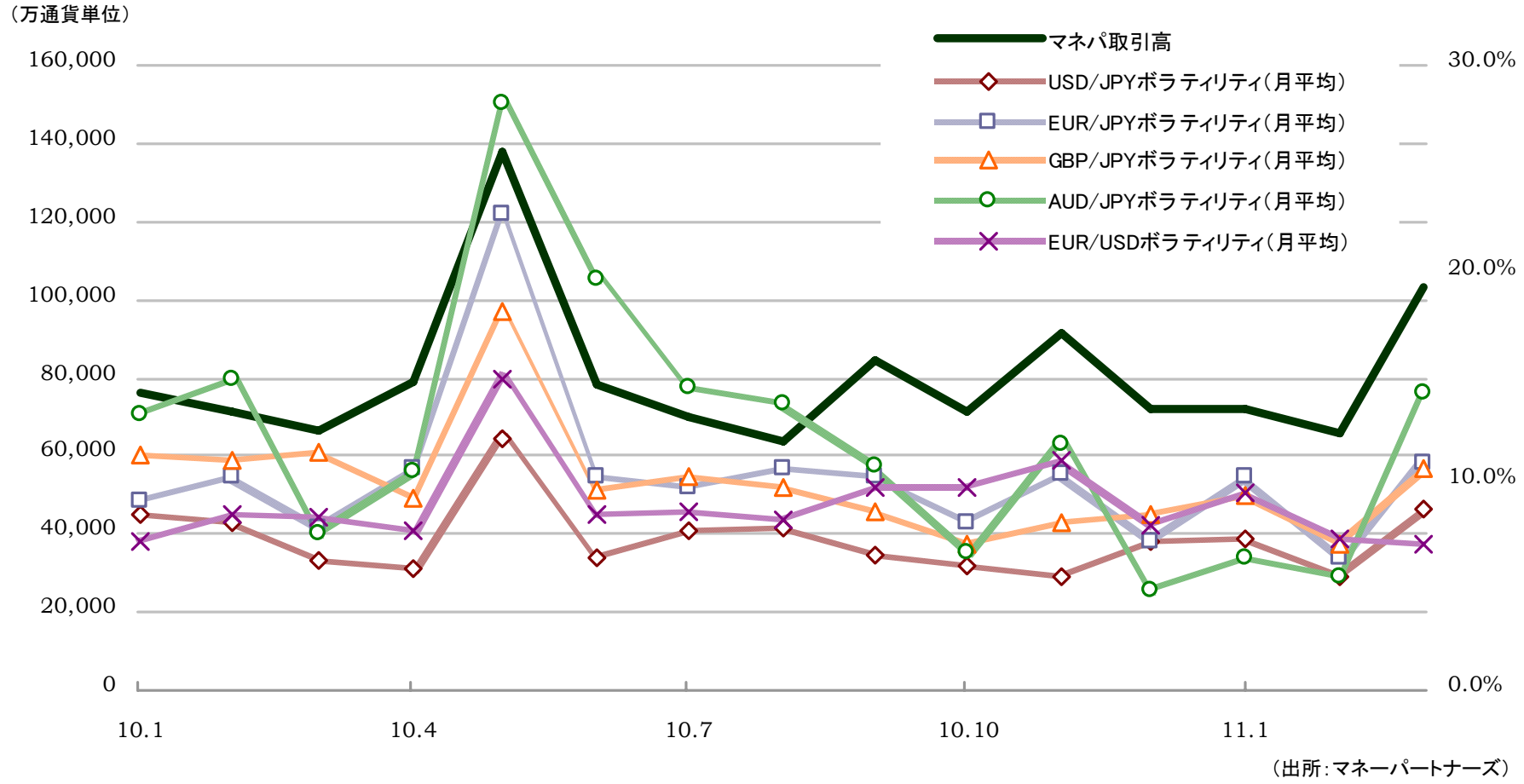
（単位＝外国為替取引高：百万通貨単位、営業収益：百万円）

	09/3期 3Q	09/3期 4Q	10/3期 1Q	10/3期 2Q	10/3期 3Q	10/4期 4Q	11/3期 1Q	11/3期 2Q	11/3期 3Q	11/3期 4Q
外国為替取引高	193,834	202,379	179,617	184,039	223,243	213,366	295,234	217,810	235,158	240,340
営業収益	3,586	3,167	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

市場環境と事業の動向

【取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移】



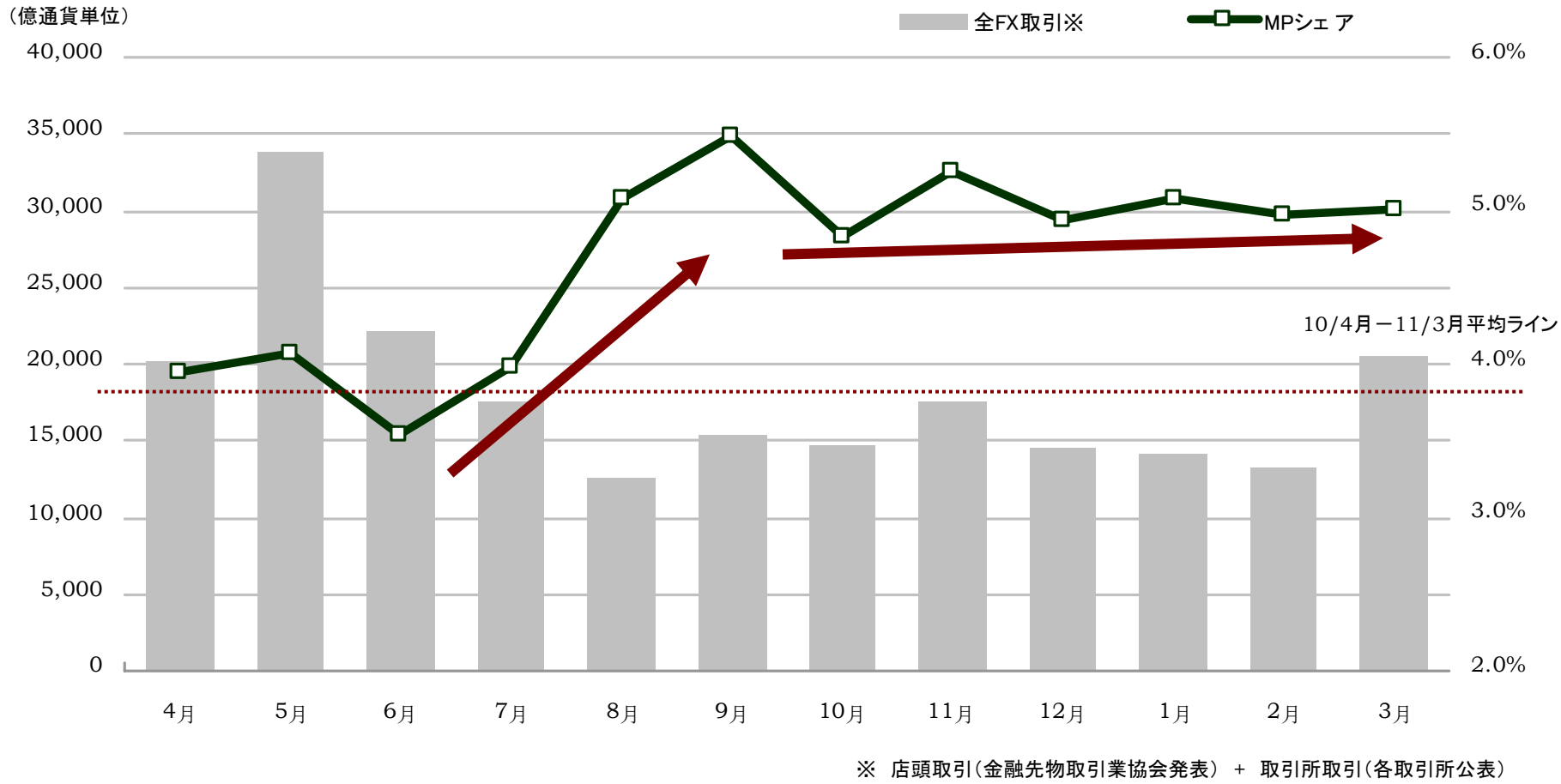
（出所：マネーパートナーズ）

震災の影響により一時的に相場は乱高下したが、当四半期も総じて低いボラティリティであり、
特に1月、2月は全体のボラティリティが極めて低調であった。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

市場環境と事業の動向

【 国内全FX取引高と当社取引高シェアの推移】



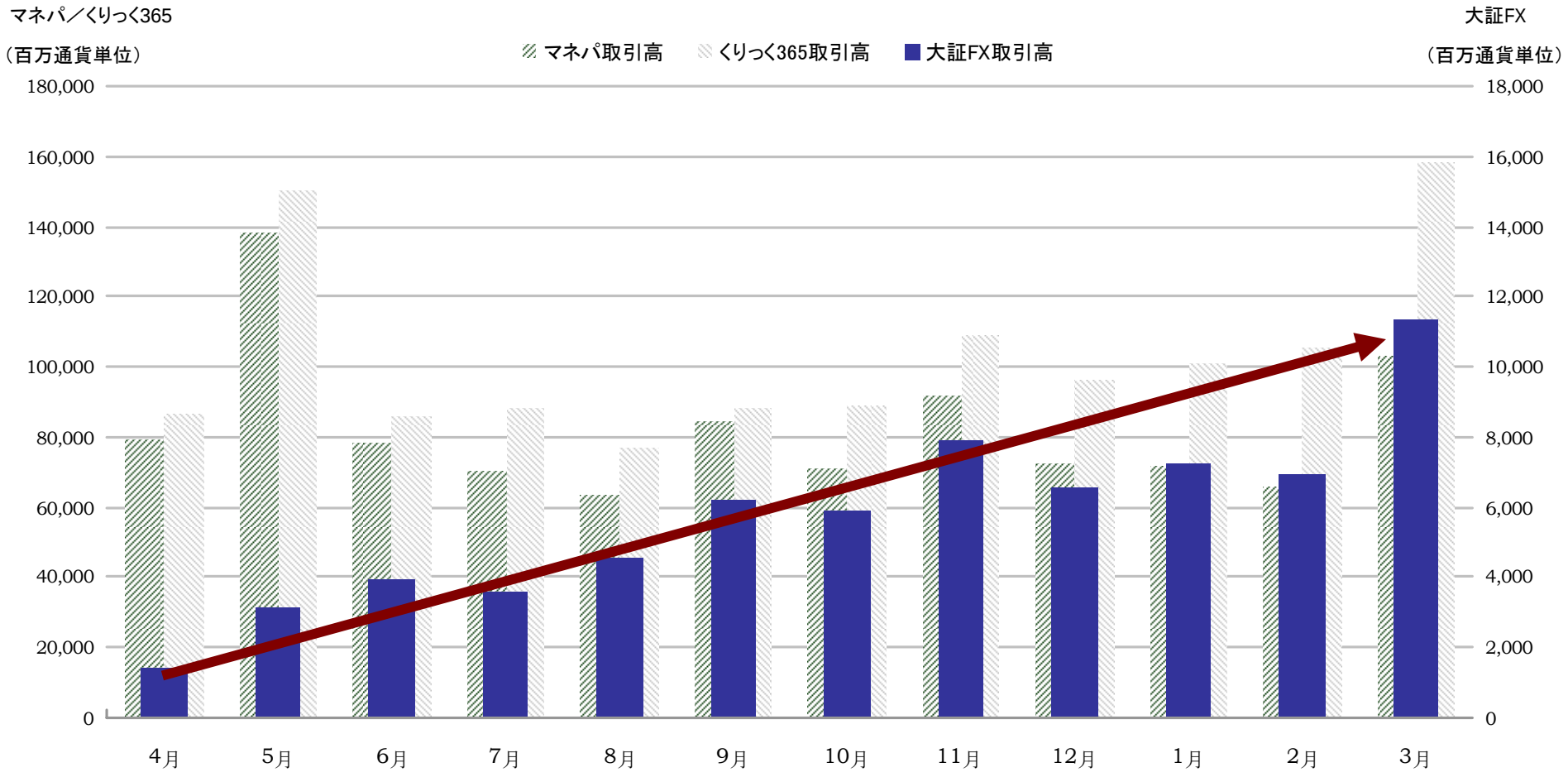
※ 店頭取引（金融先物取引業協会発表） ＋ 取引所取引（各取引所公表）

国内FX市場がボラティリティ低下の影響を受けつつも相対的に成長する中、取引高シェアを増加・維持

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

市場環境と事業の動向

【 大証FX取引高と当社及びくりっく365取引高の推移】



大証FXの取引増に伴い、マーケットメイク業務からの収益も増加。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

四半期業績推移

Money Partners Group

◆四半期業績推移

単位:百万円

	2010/3期				2011/3期				前四半期対比増減
	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	
営業収益	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	**1,969**	**2.0%**
受入手数料	0	0	0	0	0	0	0	**0**	**-4.0%**
トレーディング損益	2,480	2,382	2,381	2,417	2,955	2,077	1,920	**1,958**	**2.0%**
金融収益	3	5	4	5	6	5	4	**4**	**-3.0%**
その他の売上高	24	5	18	7	13	21	5	**5**	**-1.4%**
金融費用	0	0	0	2	2	2	2	**14**	**494.8%**
売上原価	17	3	10	5	8	14	3	**1**	**-38.7%**
純営業収益	2,490	2,390	2,392	2,423	2,964	2,088	1,925	**1,952**	**1.4%**
販売費・一般管理費	1,856	1,912	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	**1,796**	**-4.5%**
営業利益	634	477	297	339	698	115	45	**156**	**246.9%**
経常利益	636	476	295	336	693	107	38	**149**	**285.4%**
税金等調整前四半期純利益	636	476	295	336	671	107	△42	**150**	-
四半期純利益	403	334	213	195	394	59	△26	**87**	-
営業収益経常利益率	25.4%	19.9%	12.3%	13.8%	23.3%	5.1%	2.0%	**7.6%**	

1. 営業収益は、前四半期比2.0%増加とほぼ横ばいにとどまる。
2. 経常利益は、販売費・一般管理費の減少により前四半期比2.8倍の149百万円に回復。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

四半期販管費推移

◆販管費内訳の推移

単位：百万円

	2010/3期				2011/3期				前四半期対比増減
	1Q（4月～6月）	2Q（7月～9月）	3Q（10月～12月）	4Q（1月～3月）	1Q（4月～6月）	2Q（7月～9月）	3Q（10月～12月）	4Q（1月～3月）	
取引関係費	976	1,057	1,247	1,220	1,369	1,079	1,010	**953**	**-5.7%**
人件費	225	244	245	239	244	240	239	**222**	**-7.1%**
不動産関係費	276	268	256	266	260	260	254	**243**	**-4.4%**
事務費	202	203	210	221	230	238	216	**227**	**5.1%**
減価償却費	102	109	112	119	116	123	129	**129**	**-0.4%**
租税公課	7	15	11	1	14	13	10	**0**	**-91.0%**
貸倒引当金繰入れ	0	0	△0	0	0	0	0	**4**	**—**
その他	35	12	11	13	28	16	18	**14**	**-22.3%**
販売費・一般管理費合計	1,856	1,912	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	**1,796**	**-4.5%**
（主要な費目）									
広告宣伝費（※1）	309	316	347	344	216	237	204	**132**	**-35.0%**
システム関連費用（※2）	368	369	366	387	405	422	388	**391**	**0.6%**

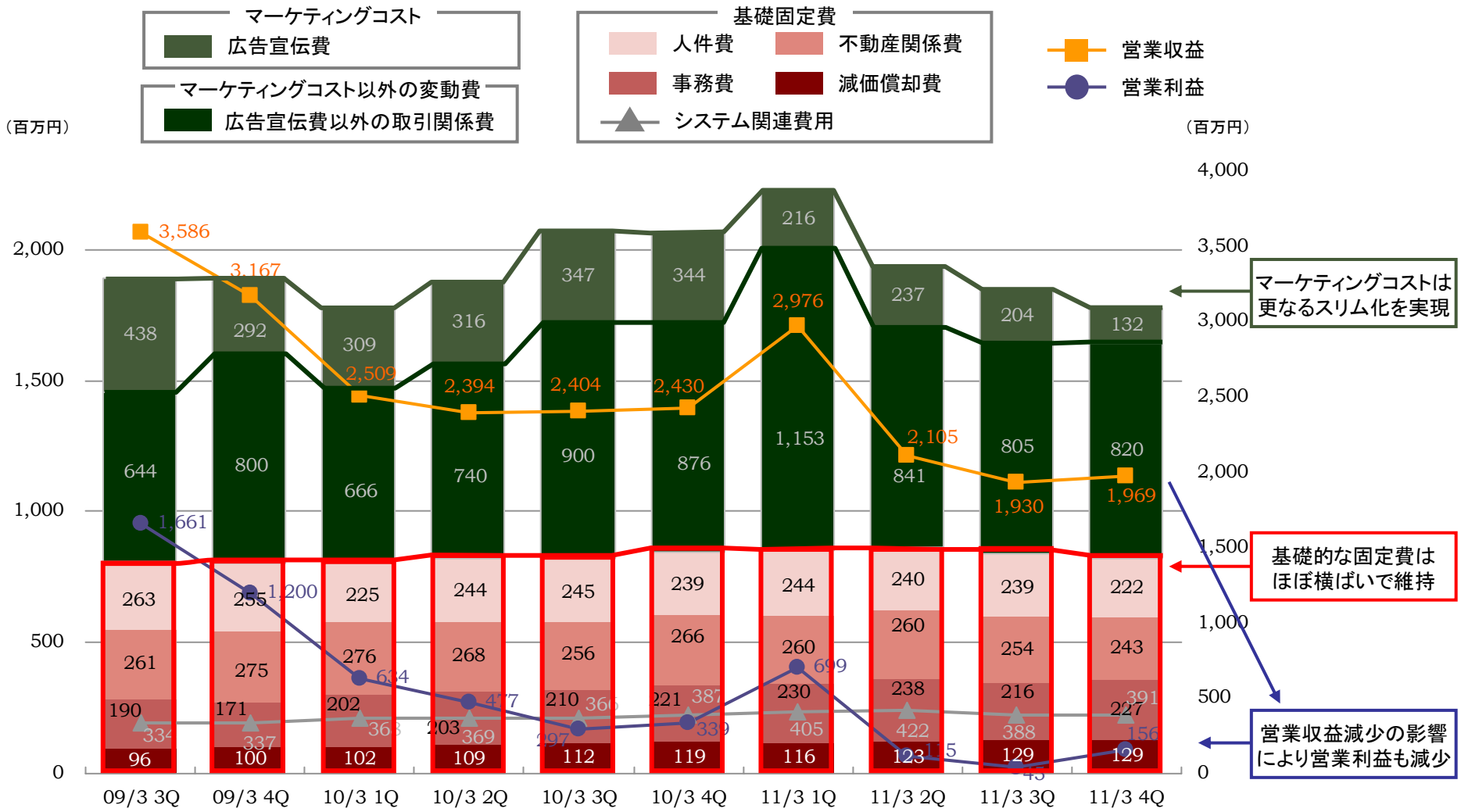
※1　取引関係費の一部となります。　※2　旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

1. 広告宣伝費は費用対効果を重視した広告戦略への転換により71百万円減少し132百万円となった。
2. システム関連費用（旧電算期費）は効率化の維持により前四半期比2百万円増の391百万円となった。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

四半期固定費および変動費推移

◆主要な固定費・変動費の推移

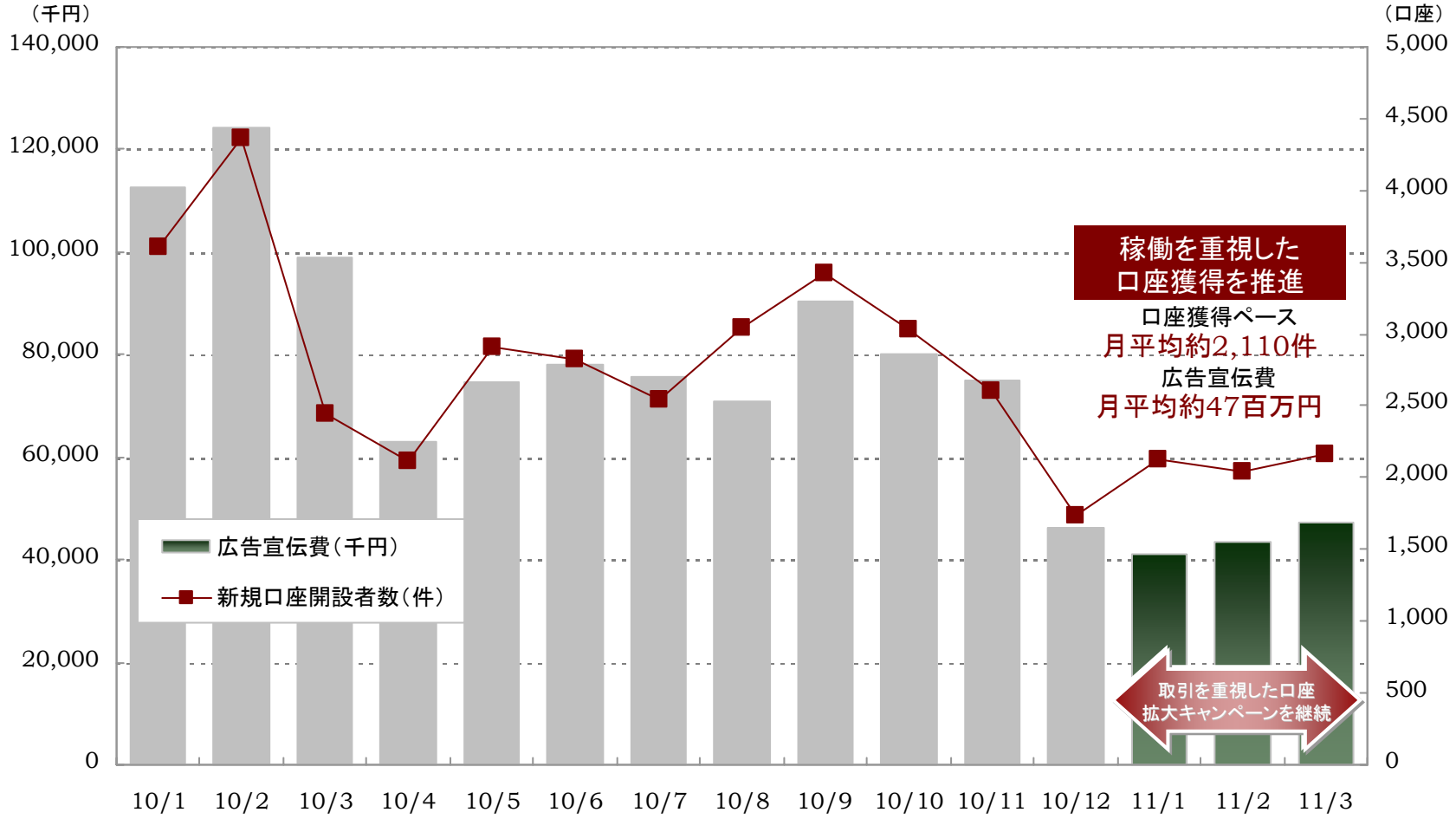


マーケティングコストの抑制に加え、基礎固定費も削減しコスト構造全体を改善

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

月次広告宣伝費の推移

◆広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移

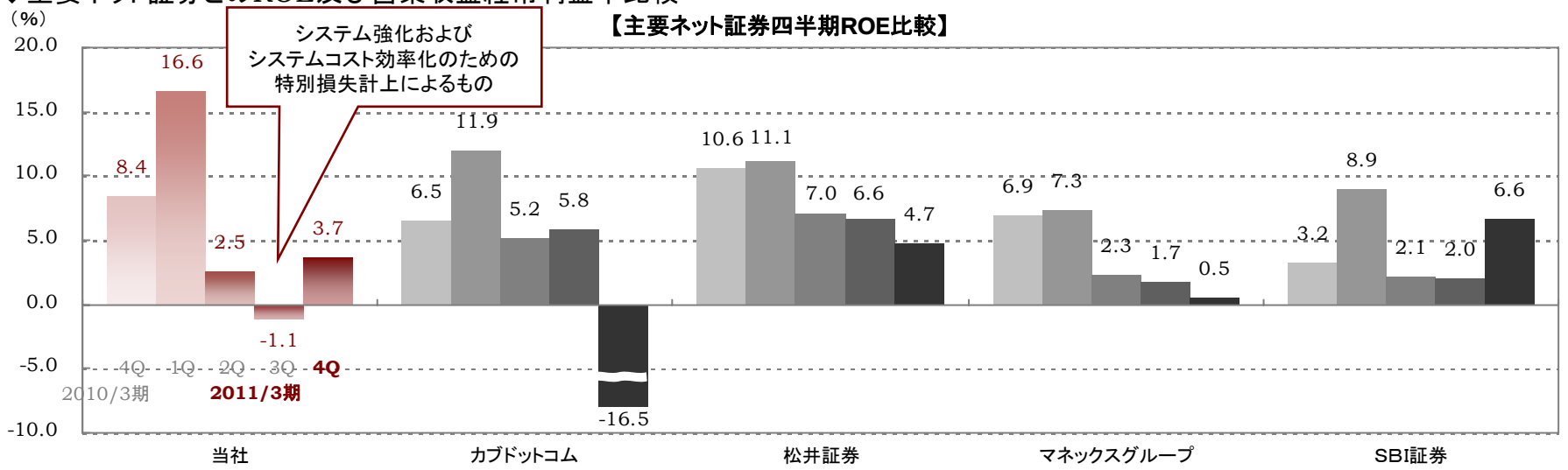


広告宣伝費は引き続き抑えているものの、口座獲得ペースは1月以降安定的に推移。

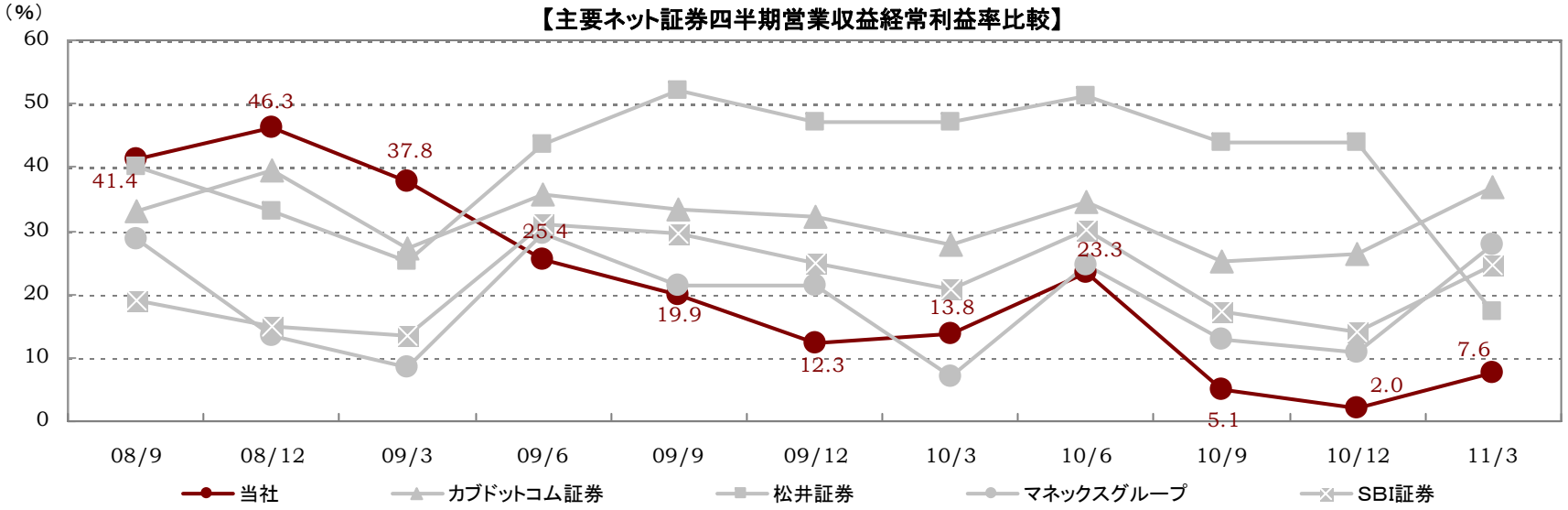
Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

主要経営指標推移

◆主要ネット証券とのROE及び営業収益経常利益率比較



※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100　　なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

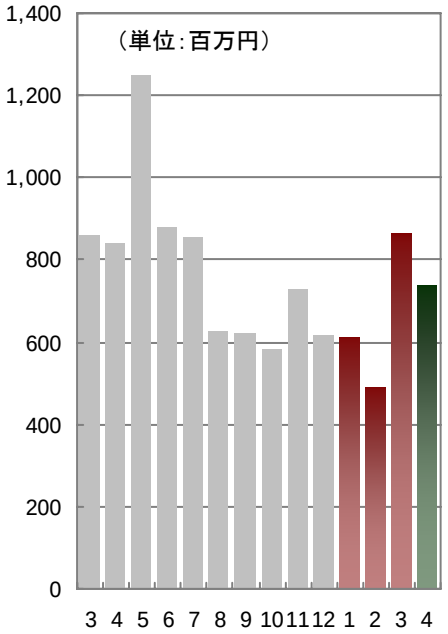
月次業績指標推移

◆月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

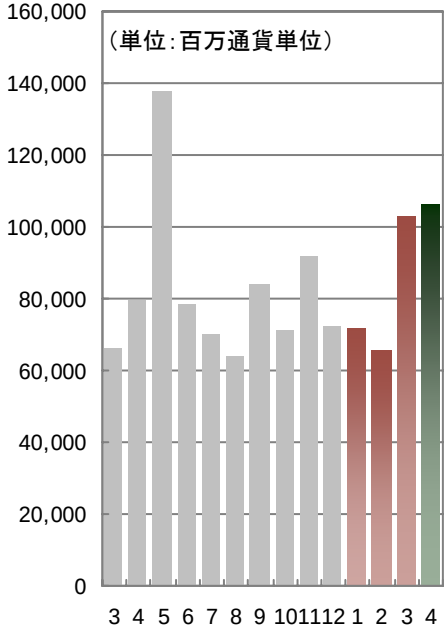
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
営業収益(百万円)	860	843	1,249	882	855	627	622	584	729	616	611	493	863	738
取引高(百万通貨単位)	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247	91,748	72,162	71,791	65,614	102,934	106,089
顧客口座数(口座)	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789	154,260	155,852	157,862	159,773	161,785	163,794
顧客預り証拠金(百万円)	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136	33,271	37,244	35,725	36,498	32,152	33,195

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。
顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。

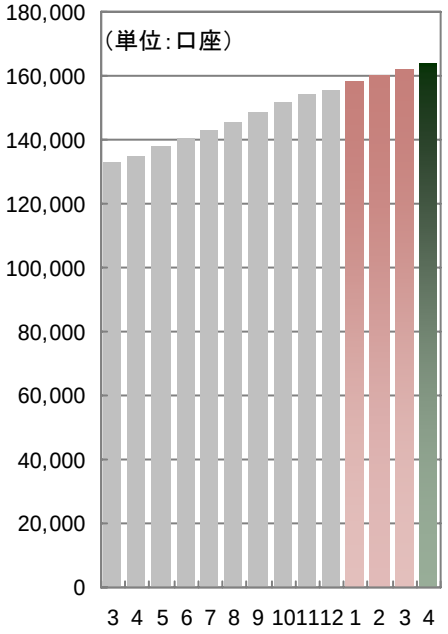
■営業収益



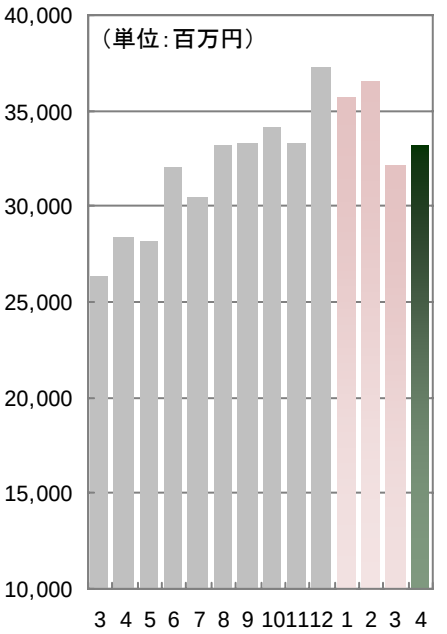
■外国為替取引高



■顧客口座数



■顧客預り証拠金



顧客基盤、外国為替取引高とも堅調に推移

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

Ⅱ.2011年3月期の取組みと重点課題の進捗状況



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期の主な取組み

証拠金規制対応について

- 証拠金規制（レバレッジ50倍）の施行に伴う商品性変更準備

システム関連の取組み

- リッチクライアント取引ツール「HYPER SPEED NEXT」のリリースと機能追加(発注機能実装、システムトレード準備等)
- 会員専用サイト（顧客資産一元管理サイト）のオープン（2010/4/10リリース）
- 株式買付機能（フルネット化）の準備（2010/7/26リリース）
- 基幹システムの世代交代とそれに伴うシステムコストの効率化実現

顧客向けサービス関連の取組み

- 株式売買機能を完備した証券サービス開始と、「有価証券×FX」資産運用サービス強化
- 顧客の取引傾向を分析し、収益性向上を支援するトレードレポート提供開始
- 外貨両替・受取サービスの開始

顧客基盤拡大に向けての取組み

- 強力な約定力を維持したままの、提供スプレッドの縮小による競争力強化
- 新たな店頭デリバティブ取引のサービス開始に向けた準備（CFD取引サービス開始の準備）
- 初心者向け取引「Partners FX nano」のスプレッド1銭固定化による初心者層の開拓

BtoBビジネスに関する取組み

- 韓国オンライン証券とのアライアンスの模索
- 大手事業法人・金融法人等のアライアンスの模索

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

重点課題の進捗状況

	2011/3期の主な取り組み	取り組み結果と評価
取引高当たりの収益性向上	• カバーアルゴリズムチューニングの継続と大ロット超短期取引への対応	△ 一定の効果は達成したものの、大幅なスプレッド低下の影響を吸収しきれず今後も改善を継続
BtoCサービス強化と顧客取り込み	• 「FX」サービスの利便性向上のための「証券」サービス展開と利用促進 • より一層の商品性向上（スプレッドの更なるナロー化とFX nanoの強化） • 継続的なキャンペーン展開と付帯サービス強化による継続取引優良顧客の育成	○ スプレッド縮小等の商品性向上および継続的な既存ユーザー向けサービスの充実により、着実に進展
実需層の開拓と新商品の取扱開始	• 競争力の高い外貨両替・受取サービスの開始 • 新店頭デリバティブ取引開始（CFD）のための準備	○ 実需層開拓に向けての取り組みは確実に推進 新商品準備も順調に進展
コスト構造の筋肉質化	• 基幹システムの世代交代による将来的なシステムコストのセーブと、安定性・信頼性の高いシステム構築の両立 • 広告宣伝手法の改善による、費用対効果の高い口座獲得推進	○ レバレッジ規制を視野に入れたコストセーブを前倒しで達成 口座獲得も効率化に成功

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

Ⅲ.今後の戦略及び重点課題



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2012年3月期の重点課題

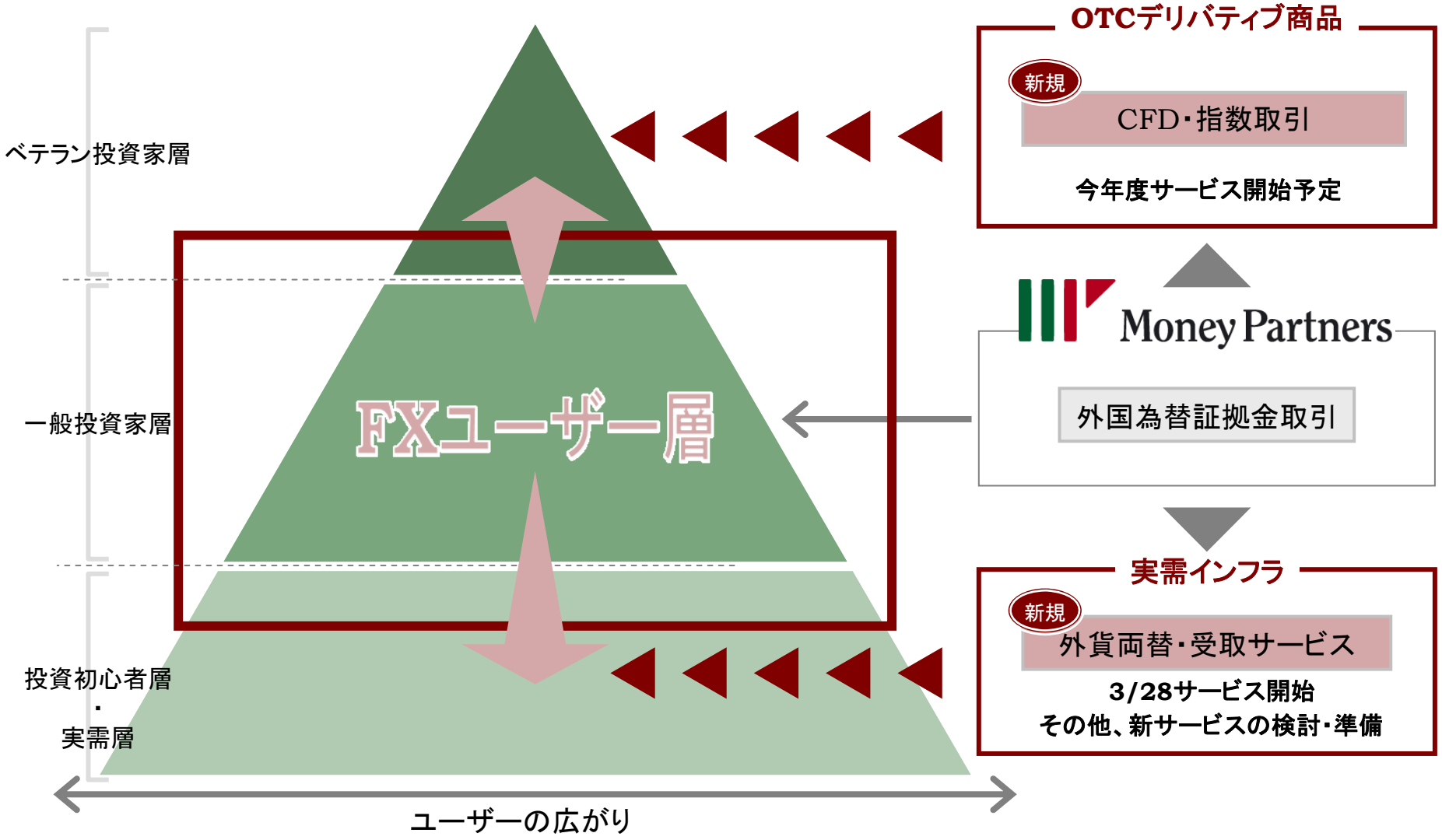
	重点課題	重点施策
既存分野	▶顧客育成による事業基盤の強化	• トレードレポート等顧客向けサービスの強化 • FX取引顧客化への導線の多様化
既存分野	▶コスト構造の更なる筋肉質化	• システムコスト、口座獲得コストの最適化
既存分野	▶内部成長の推進	• プロパー顧客の取引拡大 • 取引高当たり収益性の向上
新規分野	▶実需向けサービスの強化	• 外貨両替・受取サービスの知名度向上、利用促進
新規分野	▶新商品・新サービスの展開	• 新しい店頭デリバティブ商品のサービスイン • ユーザーオリエンテッドな新サービスの開発・展開

FXを軸にしたBtoCビジネスに経営資源をかたむけ、独自のポジションを確立する

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

中長期的な経営戦略　～新しいユーザー層の開拓

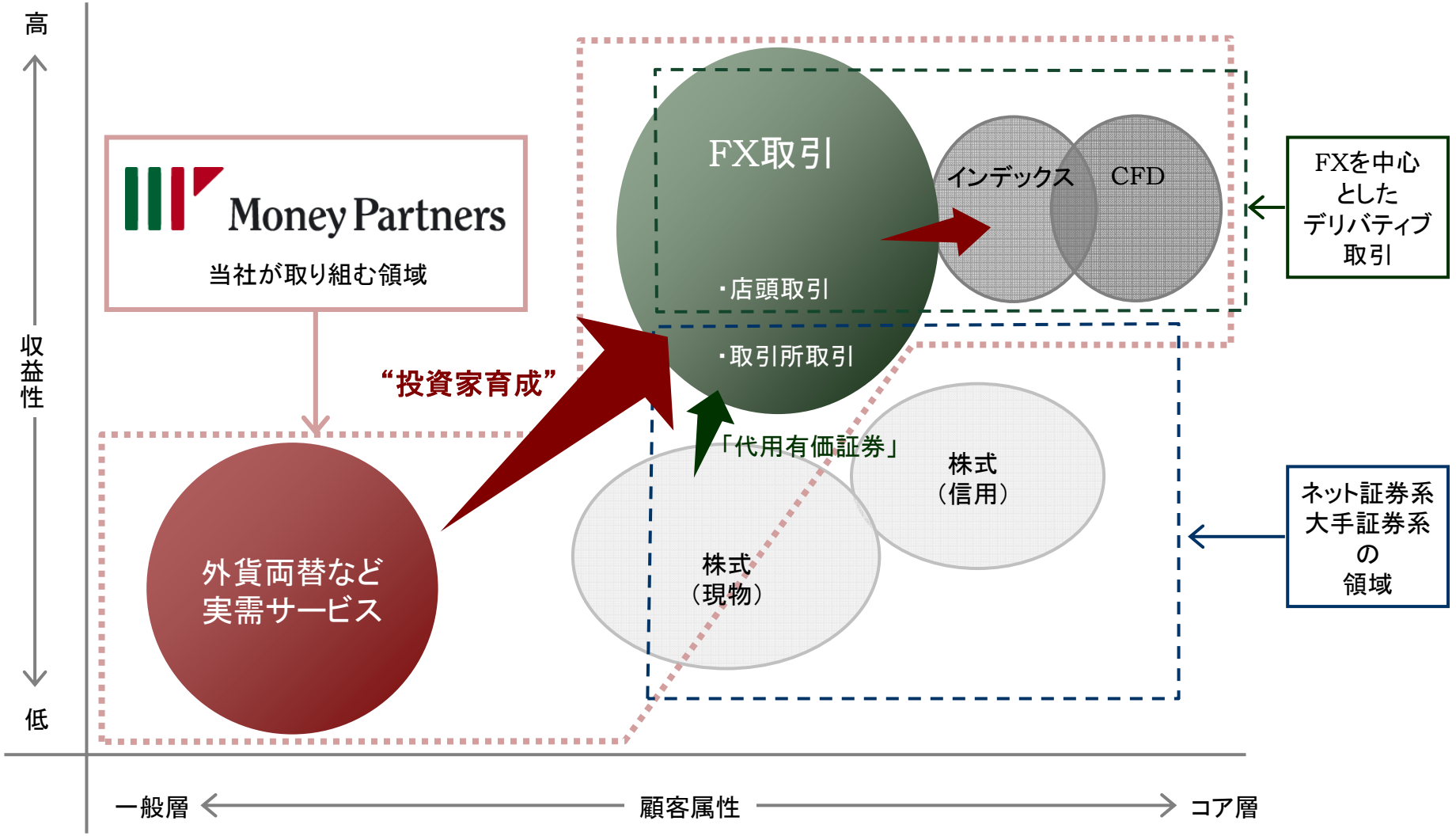
■ FXを基軸とした相対取引サービスの追加と実需インフラサービスへの展開



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

中長期的な経営戦略　～実需層への取り組み強化

■　実需層への取り組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

Ⅳ.当社の経営目標及び株主還元について



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

当社の経営目標

高水準のROE及び営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

2011年3月期第4四半期（2011年1～3月）のROEは3.7%

※：2011年3月期第4四半期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。
ROE＝（2011年3月期第4四半期当期純利益×4）÷（（2011年3月期第4四半期期首自己資本＋第3四半期期末自己資本）÷2）×100

2011年3月期第4四半期（2011年1～3月）の営業収益経常利益率は7.6%

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

株主還元について

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2010年3月期				2011年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益（百万円）	403	334	213	195	394	59	△26	87
配当金の総額（百万円）	220		139		139		30	
期末発行済株式総数（株）	321,480（内、自己株式10,623）				321,480（内、自己株式20,023）			
1株当たり配当金	700円		450円		450円		100円	

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期
決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

参考資料

Money Partners Group

当社の概要と沿革について
当社の事業内容、収益構造、通貨ペアと売買高比率について

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

グループ概要（平成23年3月31日現在）

■商号　株式会社マネーパートナーズグループ

■本社　〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
■代表取締役社長　奥山　泰全
■設立日　2005年6月10日
■資本金　17億8,622万円



■主な事業内容　持株会社

■関連会社　株式会社マネーパートナーズ

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会
登録番号：関東財務局長（金商）第2028号
事業内容：１.金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及び
これに付随する一切の業務
２.外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
３.金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容：１.外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの
設計、開発、販売、賃貸および保守
２.外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、
調査、研究およびコンサルティング

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

社是・企業理念

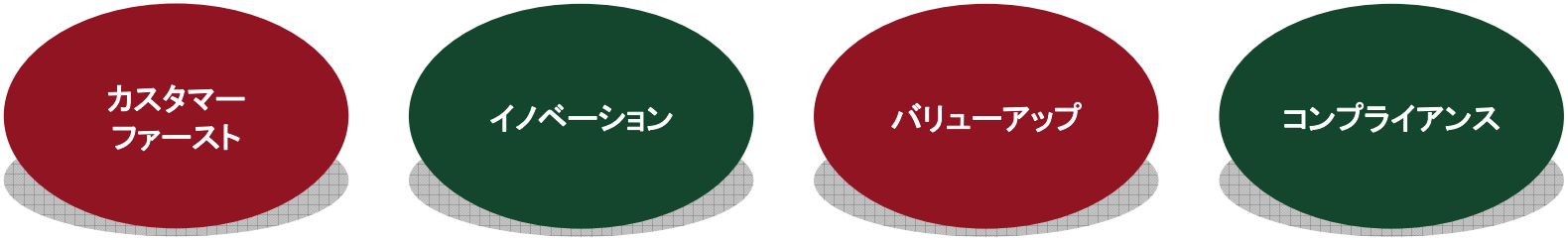
社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

グループ沿革

年月		事項
平成17年6月	**新設分割**	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布（資本金100,000千円）に設立し、外国為替取引事業を開始
平成18年8月	**8通貨→10通貨**	□ 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	**システム子会社設立**	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成19年1月	**ロゴ・HP一新**	□ CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 □ 証拠金定額制の導入
平成19年6月	**プライバシーマーク取得**	□「プライバシーマーク」認定取得
平成19年6月	**上場**	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに上場（証券コード：8732）
平成19年9月	**第一種金融商品取引業登録**	□ 金融商品取引法施行に伴い第一金融商品取引業者として登録
平成20年3月	**金融商品取引業の変更登録完了**	□ 有価証券の取扱い業務開始
平成20年4月	**格付取得**	□ 株式会社日本格付研究所（JCR)より新規に格付を取得（短期優先債務：J-3）
平成20年6月	**提示レート・小数点以下3ケタ対応開始**	□ 全ての対円通貨ペアの提示レート・小数点以下3ケタ対応開始
平成20年10月	**持株会社化**	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社（10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更）に承継し持株会社体制へ移行
平成21年6月	**10万口座達成・DSソフト発売**	□顧客口座数10万口座達成 □ ニンテンドーDSソフト　FXシミュレーションゲーム『マネパ1000万人のFXトレーニング』を発売
平成21年7月	**テレビCM開始・大証FX参加**	□ ブランド認知度向上を目的として、マネーパートナーズとして初のテレビCMを展開 □「大証FX」へマーケットメイカーとして参加
平成22年1月	**金銭信託の信託保全義務化に対応**	□信託保全先を三井住友銀行並びにみずほ信託銀行へと変更
平成22年5月	**取引通貨を13通貨ペアに拡大**	□取引通貨に「香港ドル／円」「シンガポールドル／円」「豪ドル／米ドル」を追加し取引通貨を13通貨ペアに
平成22年7月	**有価証券売買機能完備**	□有価証券買付けの取扱い開始

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

外国為替証拠金取引の歴史

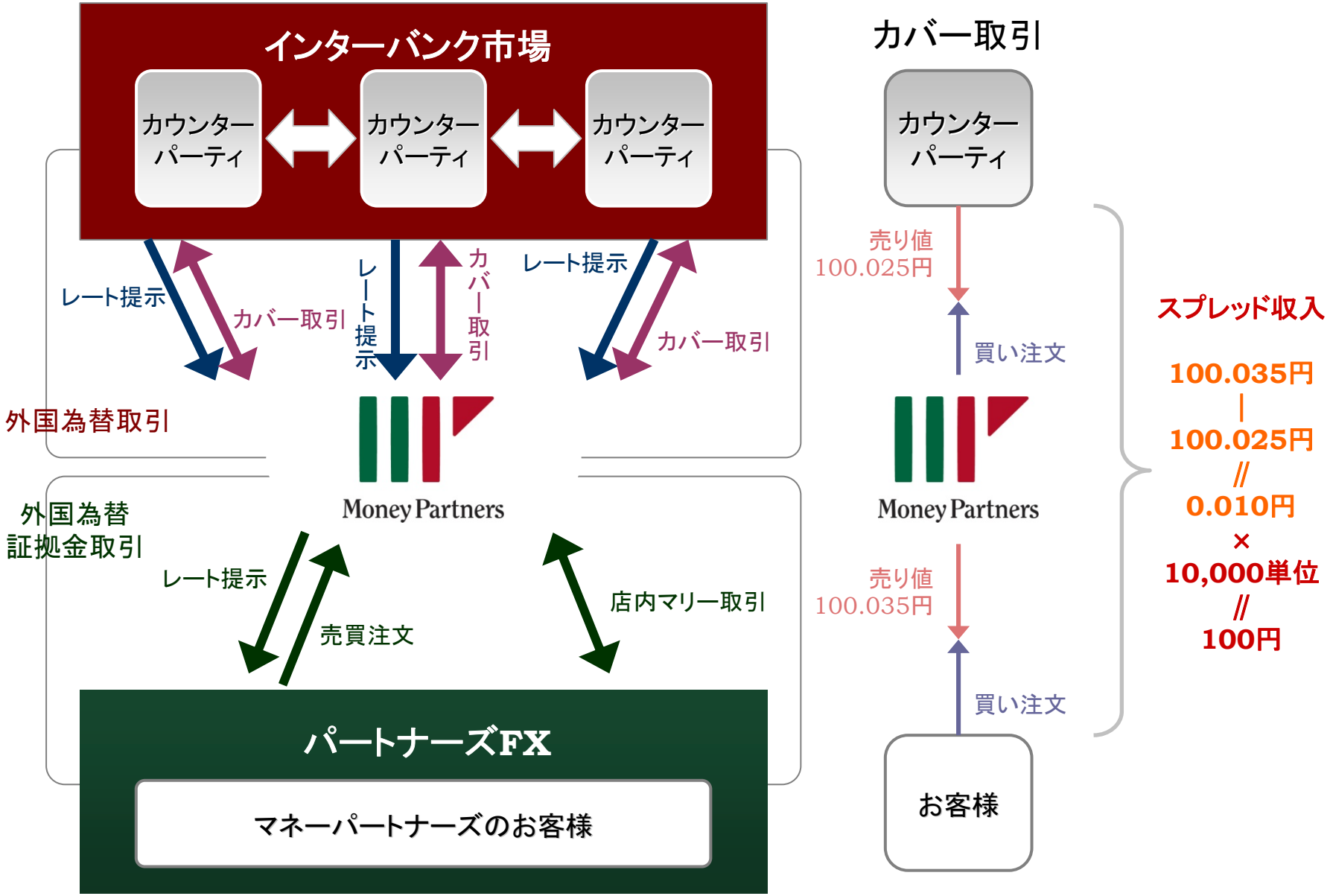
【外国為替証拠金取引に関わる法改正や規制強化と、業界およびマーケットの動き】

1998年外為法改正	為替取引の完全自由化 マーケットオリエンテッドな取引商品として個人投資家の取引が活発化
2005年改正金先法施行	乱立していたFX業者が一気に淘汰 （600社→100社強へ）
2007年9月金商法施行	FX業者が証券会社と同種扱いの金融庁管轄になり、透明性や内部管理体制の更なる厳格化が進展
2009年8月改正内閣府令施行	預り証拠金の区分管理方法を金銭信託に一本化 FX取引に係るロスカットルール整備・遵守の義務化
2010年8月改正内閣府令施行	証拠金規制が導入され、高レバレッジに対する規制が強化

激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
マネーパートナーズはFX専業・ネット専業大手企業としてのポジションを獲得

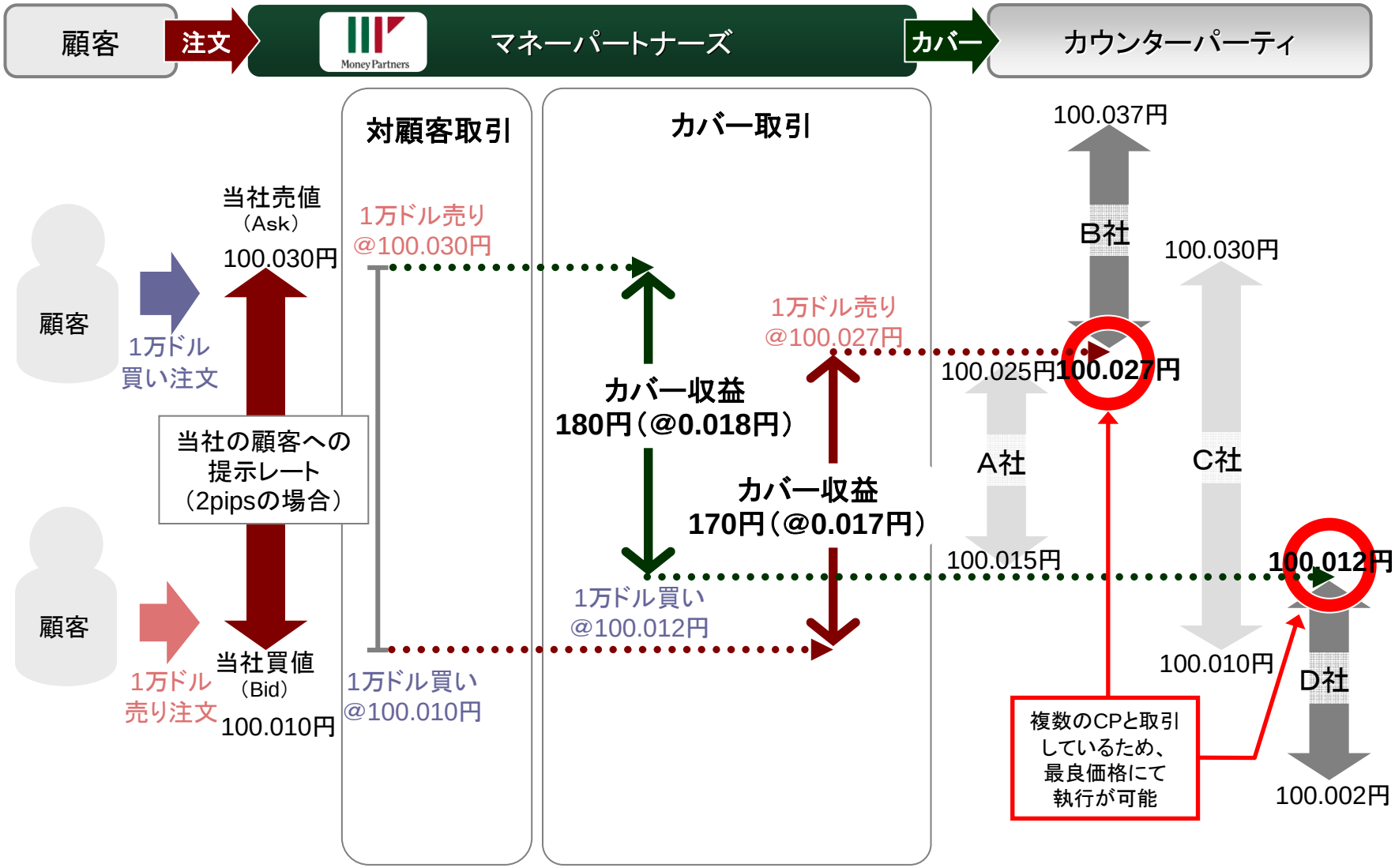
Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

マネーパートナーズの収益構造



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

マネーパートナーズの収益構造



Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

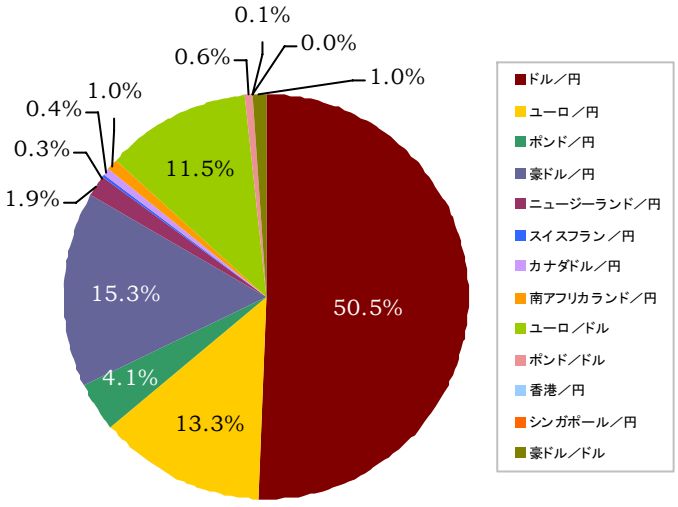
米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。
さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10,000分の1となる100単位での取引を実現。

当社取扱い通貨ペア

- USDJPY 米ドル円
- EURJPY ユーロ円
- GBPJPY 英ポンド円
- CADJPY カナダドル円
- EURUSD ユーロ米ドル
- HKDJPY 香港ドル円
- AUDUSD 豪ドル米ドル
- AUDJPY 豪ドル円
- NZDJPY NZドル円
- ZARJPY 南アランド円
- CHFJPY スイスフラン円
- GBPUSD 英ポンド米ドル
- SGDJPY シンガポールドル円

下記グラフは当社の2011年1月-3月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。



今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、およびパートナーズFXnanoは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。

また、証拠金の額以上の投資が可能なため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。
取引手数料は無料です。ただし、受渡取引および電話での決済注文に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

取引に必要な証拠金は、取引の額の2%以上の額で、証拠金の約50倍までの取引が可能です。法人コース（パートナーズFXのみ）の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額（スプレッド）があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料（消費税別）、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円（消費税込み）をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者）
〈登録番号〉関東財務局長（金商）第2028号
〈加入協会〉日本証券業協会　社団法人金融先物取引業協会

Copyright© MoneyPartnersGroup Co . , Ltd. All Rights Reserved.

2011年3月期
決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ